

Vol.143

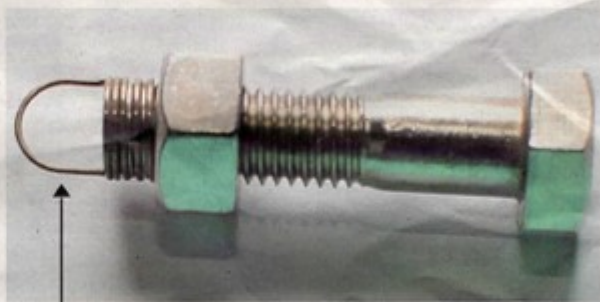


顧客の困り事 解決できていますか？

キラリと光る ものづくり企業



「ばね」(左)や板ばね(右)を基本に、さまざまな製品を顧客ニーズに合わせて開発している



特許を取得しているナットの脱着防止具。ばねがボルトのねじの谷部分に入りふさぐことで、振動によるナットの脱着を防ぐ

安全を守る 低コスト・高品質のスプリング 中央発条工業 (日田市)

中央発条工業(日田市)が手掛けるスプリング(ばね)は、自動車のエンジンやトランスミッション、ブレーキから内装までさまざまな箇所で使われている。主要取引先のマツダ(広島県)では1台当たり4千個ほど使うスプリングのうち、およそ7割が同社製だ。

長年培ってきた技術力やノウハウで、顧客の課題解決につなげる。自動車部品は車の安全走行に直結するため、メーカー側の求める品質は特に高い。必然的に費用もかかる。自動車メーカーから相談を受けた際には、自社の技術を駆使して低コストと高品質の両立ができる提案を心掛けている。車の助手席や後座席上部にある取っ手「アシストハンドル」もその一つ。設計段階から相談を受け、最適なスプリングを提案して採用され

た。同社の製品は身近な安全にも寄与している。特許技術であるスプリング型の脱着防止具は、ボルトのねじの谷部分にはめることでナットが緩むのを防ぐ。着脱も簡単で、ボルトとナットを壊さずに取り外せる。工事現場や高速道路で看板落下などナットの緩みが原因の事故をなくしたいという顧客のニーズから開発に着手した。2年かけて製品化し、現在はJR九州や首都圏のアミューズメントパークでも採用されている。

自動車用の他にも住宅用や文具、自転車用などに、およそ1万種類のスプリングを、1日最大220万個製造している。サイズは最大でも手のひらサイズ。大型の製品に比べて輸送コストを安く抑えられる利点がある。北海道にも顧客があり、全国で

常時250社ほどと取引する。タイの自動車部品メーカーにスプリングの技術提供を行うなど、商材は製品だけにとどまらない。

世界的な半導体の供給不足が自動車業界に影を落としている。減産に踏み切る動きもあり、影響は同社も受けている。竹内康晃代表



取締役社長(59)＝「顧客を大切にす



スプリングを製造する前に寸法のセッティングをする従業員。使用する材料によっても設定が変わる繊細な作業だ(日田市)

にも力を入れ、技術力をさらに磨いていく」と力を込めた。

製造業が盛んな大分県。広く知られていなくても、日々の生活に欠かせない製品や、その一部が県産産ということも結構ありそうだ。さまざまな分野で活躍するものづくり企業を取材した。

＝2、3面に続く